

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	大臣会見等同時通訳機器運用・保守経費		担当部局庁	外務報道官・広報文化組織		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度開始		担当課室	国際報道官室		佐藤国際報道官		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅲ-2 報道対策、国内広報、IT広報				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第15項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	記者会見室の同時通訳機器にかかる管理等に必要な経費							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	記者会見室の同時通訳機器にかかる管理等の経費							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算					2	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					2	
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	・会見に出席する外国人プレスの延べ人数 (注)参加登録制でないため推計値			人			60	200
			達成度	%			300	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込
	・外務大臣の会見における同時通訳の実施回数							-
				() ()			50	
単位当たりコスト	(16千円/1回(1名))		算出根拠	25年度要求額(1,617千円)÷会見見込回数(50回)÷2名=16千円				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	外部委託	-	2					
	計			2				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・外務大臣の発言を英語で即時に発信するための機材管理を行うことは優先度が高い。 ・外務大臣会見の同時通訳を円滑に行うため、国が実施すべき事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	合理的な費用で契約を行えるよう、しかるべく支出先の選定を行う予定。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	機材を適切に利用するため、機材保守・管理は不可欠。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	適切な機材管理により、記者会見の同時通訳を円滑に実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	